

新型インフルエンザ・大規模地震対策「BCP クイックトレーニング」の提供開始

～ 事業継続計画(BCP)の実効性向上を支援 ～

株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント(以下「損保ジャパン・リスク」、社長:瀬尾 隆史)は、事業継続計画(Business Continuity Plan:以下「BCP」)の策定後間もない企業を対象として、BCP の実効性向上を支援する「BCP クイックトレーニング」の提供を本日から開始しました。

1. サービス開発の背景

2005年8月の政府による「事業継続ガイドライン」※公表を受け、「災害等における事業継続」を重要課題と認識し、BCP を策定した企業数は大幅に増加しています。

しかし、非常時に適切にBCPを機能させるために不可欠である、BCPに基づく訓練の反復は、訓練担当者の十分なノウハウや訓練準備に対する多大な時間や労力が要求されるため、多くの企業で十分には取り組めていない現状があります。

そこで、損保ジャパン・リスクは、企業がBCP策定後に初めて訓練を実施することを想定し、訓練を通じてBCPの基本機能の継続的な検証や向上のための取り組みを効率的に支援する「BCP クイックトレーニング」の提供を開始することとしました。

※「事業継続ガイドライン」

突発的に発生する災害(地震、水害、テロなど)や、段階的かつ長期間に渡り継続する災害(新型インフルエンザを含む感染症、水不足、電力不足など)に対応した事業継続の取り組みの基本的考え方を示したガイドライン。2009年11月に、内閣府「事業継続計画策定促進方策に関する検討会」で第2版が策定された。

2. サービスの概要

(1)サービスの特長

①短期間で訓練実施が可能

損保ジャパン・リスクは、これまで多数の企業・団体に実施してきたBCPのコンサルティングを通じて蓄積したノウハウ・情報をもとに、企業が取り組むべき基礎的な訓練内容に絞り込んだ「標準ツール」を開発しました。この「標準ツール」を活用することにより、通常は準備期間を含め3～6か月を必要とする訓練を、短期間(6～10週間程度)で実施することが可能となります。

②新型インフルエンザ、大規模地震に対応

現在、多くの企業がBCPを策定する際に主なリスクとして想定している、「新型インフルエンザ(強毒性、弱毒性)」または「大規模地震(首都直下地震)」のどちらかひとつを選択することが可能です。

③豊富な訓練支援ノウハウにもとづいたアドバイス

訓練終了後に、「訓練の講評」及び「簡易評価レポートの作成」を行い、各企業の「取り組みの進んでいる点」や「改善が望まれる点」についてアドバイスします。

(2)サービスの内容

本サービスでは、次の2種類の訓練から1つを選択していただきます。

	新型インフルエンザのワークショップ型訓練	大規模地震時の対策本部初動対応訓練
参加者	本社災害対策本部事務局など	
訓練対象	東京都内における、新型インフルエンザの「感染拡大期(約1週間)」と「感染まん延期(約4週間)」の2つの「感染状況」を想定した訓練	東京湾北部地震[M7.3]発災時の初動行動(発災後3~4時間経過時の動作を確認)
訓練の事前準備	訓練の事前準備として、2回の打ち合わせを行います。 【第1回打ち合わせ】 訓練内容の詳細確認、標準ツールの説明、訓練までのスケジュール及び作業分担確認、企業側の行動計画・BCPなどの内容確認 【第2回打ち合わせ】 シナリオなどの訓練時使用資料・ツールの確認、訓練当日の進め方の確認	
訓練当日の進め方	各「感染状況」について訓練事務局(損保ジャパン・リスク及び企業側の担当者で構成)が、訓練で想定している「感染拡大の経緯」等の状況をスクリーン等で説明します。また、詳細な状況(従業員および取引先の状況等)を書面で提供します。 これらの情報をもとに、訓練参加者が企業の置かれた状況を把握・予測し、ワークショップ形式で「BCPの内容」「業務の優先度」および「状況に応じた事業継続・感染予防対応」について検討します。	就業時間中に大規模地震が発生したと想定して訓練を実施します。訓練参加者には、時間の経過とともに判明した情報をスクリーン又は書面により適宜提供します。 これらの情報をもとに、訓練参加者がBCPにおいて規定した役割(電話による連絡、帳票を用いた情報集約、本部長への報告、BCP発動と初期対応の判断・指示等)を実施します。
訓練時間	事前説明30分程度 + 訓練2時間程度 + 講評30分程度	

(3)料金・期間

【料金】 950,000円(税抜)[税込997,500円] 【期間】 6~10週間程度

上記は東京都内で訓練を実施する場合の料金・期間です。その他の地域については別途ご相談となります。

以上